

ストーリーカー

佐藤…ストーリーカー

鈴木…アイドル

高橋…イケメン

スタッフ

田中…いじめっ子（ナレーションでも良い）

先生…（ナレーションでも良い）

お母さん…（ナレーションでも良い）

配達員1…（ナレーションでも良い）

あらすじ

いじめられていた佐藤は、唯一優しくしてくれた鈴木に執着する。やがて彼女はアイドルとして活動を始めるが、佐藤の歪んだ愛情はストーリーカー行為へと変貌。盗撮や差し入れ、付きまといに怯える鈴木は精神的に追い詰められていく。一方、事故をきっかけに“命の恩人”として近づく佐藤は告白するが、その独占欲と狂気を悟った鈴木は彼を刺殺。世間から「人でなし」と罵られた彼女もまた自ら命を絶ち、歪んだ救済の物語は破滅へと終わる。

（明転 学校）

田中 おい、お前気持ち悪いんだよ!!

佐藤 ……

田中 何とか言ったらどうなんだよ!!（佐藤を殴る）

佐藤 ぐうえ

田中 うわ、しゃべんなよ、カエルの鳴き声みたいで気持ち悪い!

佐藤 ……

田中 いいか、この世界にお前の味方はいないんだよ!!

（なあ田中、次体育だぜ早く行こうぜ）

田中 （下手にはける）

佐藤 ……

鈴木 （下手から出てくる）

大丈夫?

佐藤 ……大丈夫だよ

鈴木 ごめんね。かばってあげられなくて、カエルなんて、酷いよね。
佐藤 いや、鈴木さんのおかげで何とかなっている気がする。

鈴木 ……カエルか…でもさ、こんな考え方もできるよね。

佐藤 「井の中の蛙大海を知らず」っていうことわざ知ってる？
えっ、うん

鈴木 本当の意味とは、だいぶ違って、今の生活はいいものとは言えないけど、
今の生活は人生そのものじゃないと思うんだ。だから、これからの人生い
ろんな人に会って、自分の世界を広げて欲しいな。

（学校のチャイム）

じゃ、もう行くね。（上手にはける）

佐藤 「井の中の蛙大海を知らず」か、

「されど空の青さを知る。」（不吉な笑み）

（暗転）

鈴木 お母さん、最近誰かにつけられている気がするの

母 ホントに、なら、ダンスのレッスン送り迎えは私が車で行くわ。

鈴木 お願い

（明転 学校）

佐藤 鈴木さん、おはようございます。

鈴木 お、おはよう。

佐藤 眠そうだね、最近、ダンスのレッスン遅くまで頑張っているもんね。

鈴木 そ、そうだね、何でダンスのレッスンのこと知ってるの？

佐藤 塾の帰り道で見たことがあるからだよ。

鈴木 そ、そう

佐藤 あと、歌のレッスンは車での送迎はないんだね。

鈴木 そ、そうだね。

（学校のチャイム）

鈴木 じゃ、授業行かないと（上手にはける）

佐藤 僕も行かないとな（上手にはける）

（暗転）

母 最近元気ないけど、やっぱりつけられている件のこと？

鈴木 うん…

母 そう…実はね、この町から引越すことになったの。

鈴木 えっ・・・そうなんだ

母 ええ、お父さんの仕事の関係でね。

鈴木 いつから、引越すの？

母 一週間後よ。

鈴木 急いで友達にお別れ言わなきゃだね

(明転 学校のチャイム)

先生 はーい、席について。今日はクラスメイトについてお知らせがある。鈴木が、急ではあるが引越すことになった。今日から引越しの準備があるから学校には来ない。

佐藤 そんな、聞いてない、鈴木さんが離れていく・・・そんなのダメだ。

(暗転 アイドルの曲 歓声)

スタッフ お疲れ様です、今日も最高でした。

鈴木 はい、ありがとうございます。

スタッフ この後、握手会がありますけど、大丈夫ですか？

鈴木 大丈夫ですけど飲み物もらえます？

スタッフ 何飲めます？

鈴木 ラムネのバナラフロート

スタッフ 分かりました、頼んでおきます

それでは、握手会を開始します。

(スタッフ上手にはける)

鈴木 はあ

(高橋上手から舞台に来る)

鈴木 今日は暑い中来てくれてありがとう。どうだった？

高橋 すごく良かった。歌詞が胸に突き刺さる歌声にダンスがとても大人っぽくてすごく良かった。

鈴木 ありがとう。

高橋 ああ、あとこれ、プレゼント。(狐のぬいぐるみ)

鈴木 ありがとう可愛い、大切にするね

スタッフ (舞台に出る) すみません、時間です。

あと、頼まれてたものです。

高橋 じ、じゃ(上手にはける)

鈴木 (ラムネのバナラフロート飲んで) 甘くていい。

スタッフ (上手にはける) 次の方お願いします。

鈴木 今日暑いな・・・佐藤君？

佐藤 お、覚えてくれたんだ!!

鈴木 ええ、元クラスメイトだし

佐藤 さっきの人とすぐ盛り上がったけど・・・

鈴木 さっきの人からこれをもたらったの（狐のぬいぐるみ）

佐藤 それなら、僕も差し入れあるよ。

（カバンからペットボトルを出す）

鈴木 これ・・・何かな？

佐藤 キャラメルラテにさらに、はちみつを入れてみたんだ。

鈴木さん、学生の頃から甘党でしょ。

鈴木 う、うん、そうだね。

スタッフ （舞台に出る）すみません、時間です。

佐藤 じ、じゃ（上手にはける）

スタッフ 今日もたくさんの方が来ましたね。

スタッフ それは何ですか？（狐のぬいぐるみ）

鈴木 ファンの人の差し入れ

スタッフ そちらはどうされますか？

鈴木 持って帰ろうかな。

スタッフ そうですか、こちらも差し入れですか？（佐藤のペットボトル）

鈴木 なんか、キャラメルラテにさらに、はちみつを入れたんだって

スタッフ 甘くしすぎじゃないですか？

鈴木 そうだね。

スタッフ どうしますか？処分しときましようか？

鈴木 申し訳ないけど、そうしてくれる？

スタッフ 分かりました。では、次の方どうぞ

（人の話し声「握手会」・暗転）

鈴木 お疲れさまでした。

スタッフ ありがとうございます。

（鍵を開け、扉を開く音・明転）

鈴木 （下手から登場）はあ、疲れた（ぬいぐるみを机に置く）

今日、いろんな人が来てくれて、まさか佐藤君に会えるとは思ってなかった

けど、全然変わってなかったなあ、（上手側に移動）それよりぬいぐる

みくれた人また会えるかな、（スマホを見る）へえ、まい（鈴木の友達）

は彼氏と韓国旅行か、いいなあ、私も頑張らないと

（暗転・人の話し声「握手会」・明転）

スタッフ

次の方どうぞ。

鈴木 今日に来てくれてありがとう。

高橋 久しぶり、あのぬいぐるみどう？

鈴木 すごく気に入ってる、ベッドの上にいつもあるよ。

高橋 ホントかなあww

鈴木 ホントだよww

高橋 でも、いきなりぬいぐるみは気持ち悪いよね

鈴木 いや、そんなことないよ、すごくうれしかった。

高橋 マジで!!他に好きなものは？

鈴木 うーん、甘いものかな

高橋 意外と子供ぽいんだね。

鈴木 やめてよww

スタッフ 飲み物買ってきますけど、何がいいとありますか？

鈴木 カフェラテ・・・

高橋 （おお）

鈴木 ・・・・はちみつ入りで。

高橋 やっぱ子供っぽいんだねww、でもそういうところも素敵だと思うよ。

スタッフ すみません、時間です。

高橋 それじゃね（上手にはける）

スタッフ （上手にはける）次の方お願いします。

鈴木 今日は来てくれてありがとう。

佐藤 久しぶり、今日のダンスもピョンピョン跳ねて可愛かったよ。

鈴木 あのダンス苦手だったけど。

佐藤 あっ、そういえば、さっきの人と何しゃべってたの？

鈴木 あゝwwさっきの人に子供っぽいていじられてさww

佐藤 ゴミ虫が（サラッと）

鈴木 えっ、

佐藤 あっ、そういえばさ、旅行行きたいんだよね？

鈴木 は？何で知ってるの？

佐藤 それは、鈴木さんのファンだからだよ。

それでさ、エジプトがおおすすめだよ。

鈴木 な、何で？

佐藤 それはね・・・

スタッフ すみません、時間です。

佐藤 それじゃね、あと、はちみつ置いておくね（上手にはける）

スタッフ あと、頼まれていたものです。

鈴木 （カフェラテにはちみつを入れずに飲む）

・・・苦い

（人の話し声「握手会」・暗転）

鈴木 お疲れさまでした。

スタッフ ありがとうございます。

（鍵を開け、扉を開く音・明転）

鈴木 今日も疲れたなあ（家の中を見渡す）

佐藤君、なんであんな話、私にしたんだろう。

（ピンポン インターホン）

鈴木 （驚く 恐怖）

（ピンポン インターホン）

鈴木 （ゆっくり下手側に）

配達員 すみません、郵便です。

鈴木 えっ、はい（玄関を開ける）

配達員 すみません、ここにサインお願いします。

鈴木 えっ、はい

配達員 ありがとうございます。

鈴木 なんだろう？（郵便物を開ける）

あの時の、はちみつ（佐藤の方）

（暗転・人の話し声「握手会」・明転）

スタッフ 次の方どうぞ

高橋 あれ、今日、彼女いないんですか？

スタッフ （上手から登場）そうですね、今日は来られてないです。

高橋 そうですか。分かりました（上手にはける）

スタッフ 次の方どうぞ

佐藤 あれ、今日、彼女いないんですか？

スタッフ （下手から登場）そうですね、今日は来られてないです。

佐藤 そうですか。分かりました（下手にはける）

（人の話し声「握手会」・暗転）・（机を舞台から出す）

スタッフ お疲れさまでした。

（明転・照明を街頭の明かりのように）

鈴木 （マスクをつけ、体調を崩している様子。上手から下手に移動）

佐藤 （ゆっくり様子を見ながら、上手から下手に移動）

鈴木 （何か異変を感じて、歩く速度を速く、下手から上手に移動）

佐藤 （歩く速度を速く、下手から上手に移動）

鈴木 （走り出す、上手から下手に移動）

佐藤 （走り出す、上手から下手に移動）

鈴木 （走る、下手から上手に移動）

佐藤 （走る、下手から上手に移動）

（暗転）・（机出す）

（鍵を開け、扉を開く音・明転）

鈴木 はあ、はあ、はあ・・・

（インターホン）

鈴木 （怯え）

（インターホン）

（インターホン）

（ドアをノック・インターホン）

（ドアをノック・インターホン）

（ドアをノック・インターホン）

（ドアを殴る・インターホン）

（ドアを殴る・インターホン）

（ドアを殴る・インターホン）

（ドアを殴る・インターホン）

鈴木 もうやめてよ!!

（下手から、封筒を郵便ポストから出たように）

鈴木 （封筒を拾って、中身を見る）

うわー、（手が滑って封筒の中身がひっくり返る）

（封筒の中身…折り紙で作ったカエルを大量・盗撮写真）

鈴木 キャー（怯え）

（暗転）・（場面が町中に移る）・（明転）

鈴木 （コーヒーを持ちながらボーっとしながら歩く）

もう、もう、もう、逃げたい、逃げたい逃げたい

逃げたい逃げたい逃げたい!!

(車のクラックション、車のブレーキ音)・(暗転)

高橋 危ない!!

(救急車)・(椅子と机を持ってくる)・(明転)

鈴木 (椅子に座って眠っている。そして、目を覚ます。)

ここは？

高橋 病院です。気が付きましたか？

鈴木 あっ、

高橋 いや、驚きましたよ。何とか大事にはなりませんでしたがど

鈴木 そのようですね。助けてくれたんですか？

高橋 そうなんですよ、彼が、

鈴木 ありがとうございま・・(佐藤が上手から登場)

高橋 彼があなたを助けてくれたんです。

鈴木 そ、そうですか。

高橋 いや、本当にかっこよかったです。誰よりも先に飛び出して、彼女を守る様はまるで、おとぎ話に出てくる王子様のようでした。僕は、人の命が関わる仕事をしているので、僕は、あなたのような人を本当に尊敬します、ねえ。

鈴木 そ・・・そうですね。

佐藤 そんなにたいしたことではないですよ。僕は、僕として、当然のことをしただけですし、じ、実は、僕はあなたのことが好きです。

高橋 そうなんですか！いや、でも、あなたはとても、頼りになりますし、何せこの方の命の恩人ですからね。

鈴木 ちよっと考えてもいいですか？こんなの誰にでもできることじゃないから
(冷たい感じで)

佐藤 そ、そうだね、待ってる。(上手にはける)

高橋 なんか、すごいことになりましたね。でも、俺応援してます。

鈴木 そうなりますよね。あ、りがとう。

高橋 では、今日は、おやすみなさい。

(暗転)

高橋 いや、いよいよ彼の告白の返事をする日ですね。

鈴木 そうですね(冷たい感じで)

高橋　　なんだか元気ないですね？何かありました？

鈴木　　ちょっと、朝食がのどを通らなくて

高橋　　それは大変だ、白湯でも作りましょうか？

鈴木　　いえ、水が手元にあるので大丈夫です。

高橋　　そうですか

鈴木　　変なこと、聞くのですが、

高橋　　はい？

鈴木　　あなたから見た佐藤さんでどんなイメージですか？

高橋　　そうですね、本当に尊敬できる方です。なんか、あなたのことをすべて理解しているいい人だと思います。

鈴木　　そうなんです

高橋　　更に、あなたの命の恩人ですからね

高橋　　大丈夫ですよ。きっと大丈夫です。

鈴木　　そうですね。（水を一口で飲み切る）

（暗転）・（明転）

佐藤　　答えは決まった？

鈴木　　決まったよ。

佐藤　　そう、ぼ、僕は、高校時代あなたに、救われたんだ。だから、次は、僕が救いたい。あなたをもう二度と失いたくない。だから、もう一人でどこにも行かせない、僕がいつも見守って、あなたを守りたい、僕のことを邪魔するゴミ虫は、どんなことでもしてでも粛清する。僕の覚悟分かってくれた？

鈴木　　うん、もちろん、分かるよ、私もそのつもりだから。

佐藤　　そっ、そうだね。良かった、だったらさ、ここでキスしようよ、それでさ、僕は、あなたの王子様になれる気がするから。

鈴木　　・・・

佐藤　　じゃ、いくよ

鈴木　　（包丁で、佐藤を刺す）

佐藤　　なっ、なんで。

鈴木　　何でって、あんたが私の邪魔をしたから。だから、ハ、ハハ、ハハハハハ
女性1　（なんか、鈴木さん、自分の命を救ってくれた男性を刺し殺したんだって）

女性2　（えー、ということ、普通にヤバくない、ありえないし、どういう神経

してるの？)

女性1 (そうだよ、人間じゃないじゃない？)

女性2 (ありえるWWW)

高橋 (あんなに、立派な人を、刺し殺すなんて、この人でなし)

女性1 (この人でなし)

女性2 (人でなし)

スタッフ (人でなし)

鈴木 (自分に包丁の刃先を向けて自害)

(暗転・完)